

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひかりふかがわ (児童発達支援)		公表日		年 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・現在利用児童が1名の為、のびのびとスペースを活用して使うことができています。	・環境を整え見直しをしていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・配置数は適切である。	・現在は適切な配置数なので継続していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・バリアフリー化はなっている。 ・視覚支援等の字をルビはふっていますが、イラストも交えて取り入れわかりやすくしている。	・字が読めない未就学児にはわかりにくい構造になっていると感じるので、環境の見直しが必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎朝清潔に掃除を心掛けております。 ・静と動の活動にあわせてスペースを確保し、バリアフリー化も整っている。	・細目に環境を整っているか確認し、心地よく過ごせるように、掃除を心掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・必要に応じて、クールダウンや個別で話し合う場を設ける部屋がある。	・使用する時があれば、すぐに対応できる。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・職員間で話し合いをする場を設け、いつでも設定や振り返りを行っている。	・いつでも話し合いができる場を設け、情報共有し支援を統一していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者様からの評価表や意向等を機会を設け、参考にし業務改善に繋げ努めている。	・保護者様と信頼関係を築き、話しやすい雰囲気作りを心掛けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・繋げている。	・朝礼や会議等の時間を活用し、意見や情報共有ができる機会を設け、業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	・外部評価を行った事はありません。	・外部評価によってよりよい改善に繋がるのであれば、今後検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・職員の全体研修、各委員会等で研修を開催し、また外部研修にも随時職員が参加している。	・支援の質の向上ができるよう努めていく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・作成中で整えている。	・作成が整え次第、公表していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・保護者様と面談する場を設け、こどもの様子を伺い分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	・今後も面談する場を設け、こどもの様子をしっかりと分析をしていく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・職員全体で会議等をし理解をしている。	・立場に関係無く、どの職員でもこどもの支援に関わる事なので、共通理解の下で検討していく。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・計画に沿った支援をしている。	・統一した支援内容で行えるようにしていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・日々行動観察等の記録を記載している。	・今後も様子等記録に残すように心掛けていく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・児童発達支援計画では、4本立てを基本とし、必要な項目に沿って適切に設定をしている。	・ガイドラインに沿って行う。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・職員全体で話し合い行っている。	・担当職員が一人であり、チームとして薄い所もあるので、検討していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・工夫をしている。	・今後も固定化しないよう工夫していく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	・現在利用児童が1名の為、個別活動が主となっている。	・利用人数に応じた活動プログラムを検討していく。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・朝礼等で必ず打合せをし、内容や役割分担を確認している。連携を図るよう心掛けている。	・話し合う場の時間を有効活用して共通認識ができるよう行っていく。	

適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・支援終了後には打合せはしていないが、翌日の朝礼等で反省や振り返りをし、各々意見交換等をし共有している。	・職員間で話し合う場ができる場を設け、様々な要件について意見等を言い合える環境づくりをしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・日々の支援や行動等の記録を取る事をし、検証や改善等に繋げている。	・記録をとる事の大切さや意識を徹底し、今後も支援の検証等に繋げるようにする。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・半年に一度はモニタリングを行い、計画の見直しをしている。	・職員間で話し合いする場を設け、様々な要件について意見等を言い合い、見直しをしていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・児童発達支援管理者や担当職員等、それぞれ状況を理解した職員も対応している。	・立場に関係無く、どの職員でもこどもの支援に関わる事なので、共通理解の下で検討していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・関係機関等と連携し支援を行う体制を整えている。	・今後も関係機関等との連携をしていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・所属している園に出向き様子を見学し、先生方から情報共有等している。	・今後も所属先や関係機関等へ支援の取り組み等を伝えていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	・現在就学時が居ない為、行っていない。	・就学時の移行がある際には、小学校へ情報共有し引継ぎ等していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2	・児童発達支援センターとの連携やスーパーバイズの助言等を受ける機会を設けてはいない。	・当事業所の横の繋がりががあるので、様々な指導員からの助言を頂いている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	・活動する機会はない。	・今後検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・保護者様とこどもの様子等を互いに伝え合う事ができているので、共通理解を持っている。	・送迎等でこどもの発達状況等について話し合う場がある為、いつでも共通理解が持てるので、今後も継続していく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・家族等の参加できる研修は設けてはいないが、気軽に参加できる保護者会(茶話会)を設けている。	・ご家庭の都合で参加する事が難しい。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・丁寧な説明を心掛けている。	・わかりやすい言葉で伝わるよう心掛けていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・保護者様と面談を設け、アセスメントでしっかり家族や本人の意向を確認している。	・今後も面談や送迎時等を設け、こどもや保護者様の意思を確認する。 ・いつでも話しやすい信頼関係を努めます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	・保護者様から同意を得ている。	・アセスメントでしっかり意向を聞き取りし、計画の内容へ反映出来ているので、同意が出来ている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・いつでも面談や必要な助言や支援を行なえるよう調整している。	・いつでも面談や相談を受け入れる体制ができるよう工夫している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・保護者会(茶話会)を開催している。 また、親子レクを企画し兄弟参加も設け交流に繋げている。	・今後も交流できる機会を設定していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・いつでも相談等が申し入れており、適切に対応している。	・受け入れ体制を整え、迅速に対応へ努めている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・ひかりだより、HP、SNS等を活用し、ひかり全体の活動内容を発信している。	・ひかりだよりは月1回、Instagramは週1度発信し、ひかり全体の活動内容を発信しているので、今後も取り組んでいく。
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・留意している。	・今後も個人情報の取扱いに徹底し継続していく。	

保護者への説明等	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・配慮している。	・今後も継続していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	・事業所の行事等で地域住民を招待したことはまだした事が無い。	・今後、事業所を知る機会を検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・各マニュアルを策定し、発生を想定した避難訓練として実施している。	・ひかりだより等を活用し、様々な訓練を行った情報を伝えていく。また、保護者様も交えた訓練をしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	・BCPは策定中であり、定期的に想定内容を変えながら必要な訓練を行っている。	・職員の命も大事だが、預かっている大事なお子さんの命も守りつつ避難できるよう訓練していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・状況確認をしている。	・今後も保護者様から聞き取りし、状況を確認していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・保護者様からしっかりアレルギーの内容を聞き取り、確認している。 ・医師の指示書までの確認はしていない。	・アレルギーの内容によっては医師の指示書が必要になる可能性があるため、対応していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・AEDの講習や消防署職員からの救命講習や訓練を受けている。	・今後も専門性のある方より研修や訓練を受け、安全管理に努めていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	・常に情報収集し早めに保護者様へ連絡を入れ連携を図っている。	・避難場所を確認しマニュアル等を作成し、保護者様にもわかりやすいよう伝えていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・検討している。	・記録に残し再発防止をしていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・職員での全体研修、外部講師による研修に随時職員が研修を受けている。	・研修に参加した職員は、チーム全体に研修報告をし周知している。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	・記載している。	・個別支援計画等に記載し保護者様へ説明している。	